

ラインセンサ用照明  
LNSP2 シリーズ

# IR REPORT

## 第23期 株主通信

2015年8月1日から2016年7月31日まで

### CONTENTS

■ 株主の皆様へ	01
■ News	03
■ 特集:シーシーエスの事業展開	05
■ 連結決算の状況	07
■ トピックス	09
■ 会社概要	10

シーシーエス株式会社

証券コード: 6669

## ご挨拶

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、10月27日付をもって、代表取締役社長を拝命いたしました大西浩之でございます。

就任にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

当社は2016年5月31日付で、オプテックス株式会社の子会社となりました。同社は、屋外用侵入検知センサーや自動ドア用センサーをはじめとする産業用センサーで高いマーケットシェアを有しており、防犯・自動ドア・FA(ファクトリーオートメーション)事業をグローバルに展開している企業です。

今後の当社は、これらグループ企業との連携・相互作用を最大限に活用して、革新的な「お客様に役立つソリューション」を創造し広く提供することで、世界中のメーカーにとって「無くてはならないソリューションベンダー」としてのポジションを確立してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2016年10月27日

代表取締役社長 **大西 浩之**



## 世界中のメーカーにとって、 無くてはならない企業に

当社は、LEDを活用した検査用照明では、国内・海外ともにトップシェアを占めており、業績も第21期以降、好調に拡大しております。

第23期につきましても、後半からの急速な円高の進行等のマイナス要因はあったものの、ソリューションの拡充、テストングルームの増設等によって顧客満足の向上に努めた結果、連結売上高は前期比6.1%増の7,376百万円、営業利益は同17.0%増の904百万円、経常利益は同15.9%増の880百万円と、それぞれ過去最高の実績をあげる事ができました。

今後、IoT(Internet of Things)の進展などを背景に、電子部品の微細化・高集積度化などの、加速度的な進行が見込まれる中、当社は、単にLED検査用照明と電源を販売するのではなく、本当にお客様が求めている「見える」ソリューションを、いかに提供していくのか、当社の行動指針である「すべてはお客様のために」に照らして、さらなる進化を急ぐ必要があります。

電子部品に限らず、様々な技術進化を背景にして、お客様のニーズは大きく変化していきます。当社は、それらの技術進化を先取りし、お客様のニーズをリードする「見える」ソリューションを生み出し提供していくことで、世界中のメーカーにとって「無くてはならないソリューションベンダー」を目指してまいります。

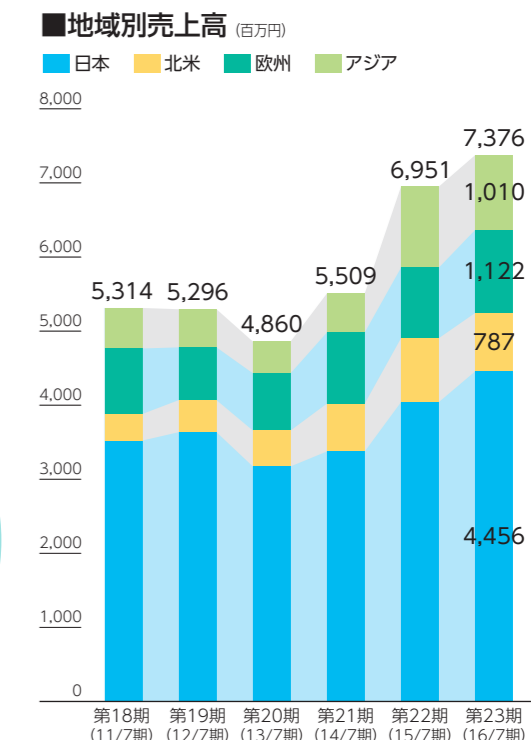
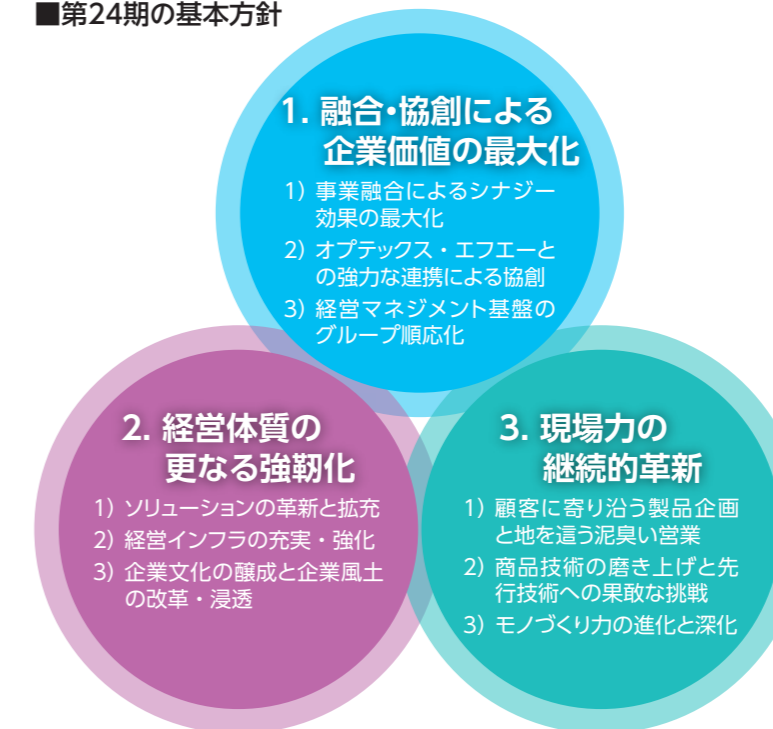
## 過去に囚われず、情熱を持った クリエイティブな企業に

豊富な過去の実績や蓄積は、大切な財産である一方で、依存し過ぎれば変革の可能性を狭めてしまう事もあります。当社はLEDを活用した検査用照明のパイオニアであり、トップシェアの地位を占めているため、過去の経験や蓄積によって作られた枠のみを通して未来を見る

という罫にはまるリスクが存在している事に、充分注意する必要があります。

強みは強みとして活用しながら、「お客様に役立つソリューション」を創造するという本来の目的に向かって、従来の枠を超えた新たなチャレンジを恐れない強い情熱や高い志を持ち続ける事が、当社が、世界中のメーカーにとって「無くてはならないソリューションベンダー」になるためには、極めて大切だと考えています。

### ■第24期の基本方針



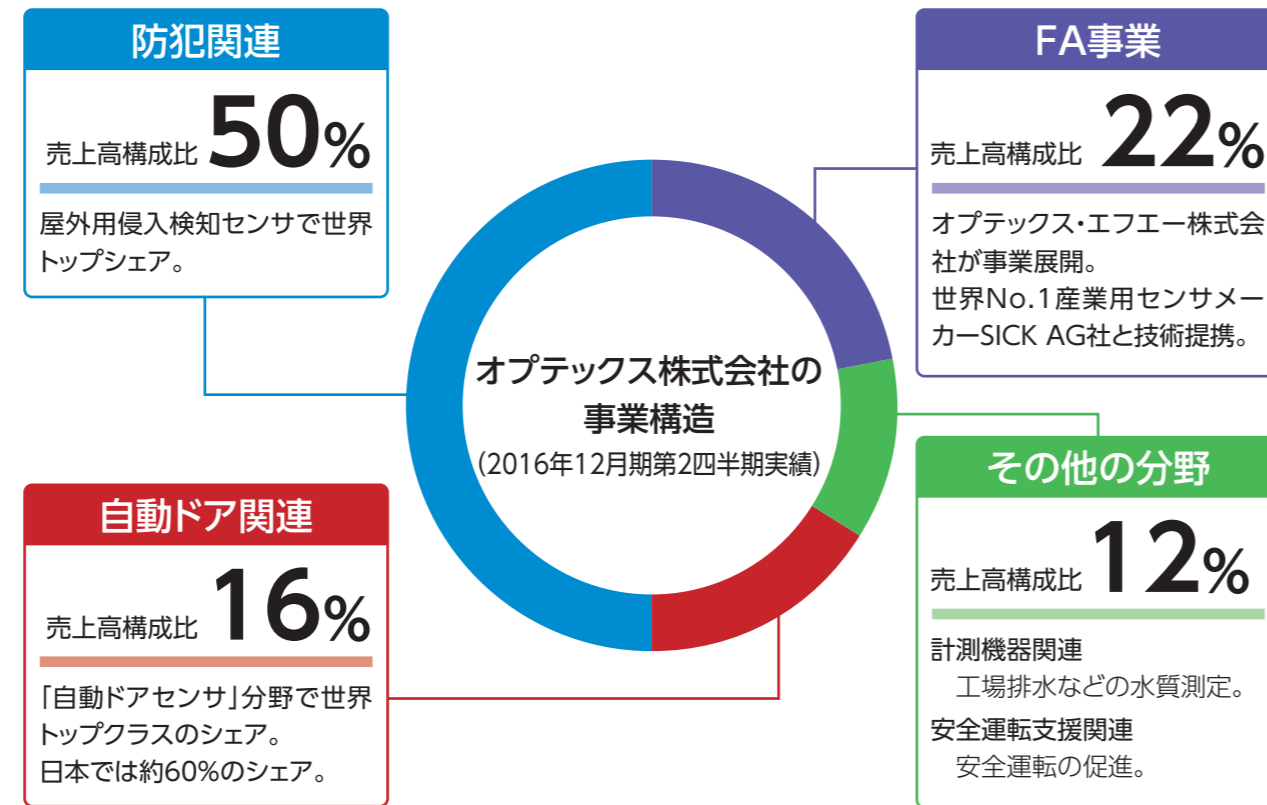
# 2016年5月31日付で、 オプテックス株式会社が当社の親会社になりました。

今後は、オプテックスグループの一員として相互協力することにより、顧客へのソリューション提供の幅を広げ、これまで以上の事業の拡大と効率的な運営を行い、より一層の企業価値向上を目指してまいります。



オプテックス株式会社 会社概要 証券コード:6914(東証 第一部)	
所在地	滋賀県大津市
代表者	取締役会長 兼 代表取締役社長 小林 徹
設立	1979年5月25日
資本金	27億9,827万円
連結売上高	277億93百万円 (2015年12月期)
従業員数	連結:1,644名 単体:288名

(2016年6月30日現在)



## 業務提携

オプテックス・エフエー株式会社と  
2016年4月7日付で、  
包括的業務提携契約を締結



ファクトリー・オートメーション用光電センサ  
関連機器、装置の企画開発・製造・販売



CREATING CUSTOMER SATISFACTION  
画像処理用LED照明装置および  
制御装置の開発、製造、販売

## お互いの強みと今後のシナジー

### 各社の強み

- |   |   |
|---|---|
| 各種産業用センサ、画像処理・検査用LED照明など幅広いラインアップ       | 画像処理用LED照明に併せてカメラ・レンズなどの周辺商材を提案するソリューション力 |
| SICK AG社との協業や中国子会社を通じて世界60ヶ国以上での販売実績    | 画像処理用LED照明の市場において、国内・海外ともにトップシェア          |
| 製造はグループ協力企業で行い、研究開発とマーケティングに特化したファブレス経営 | ソリューション提案を実現させる商品開発力・モノづくり力               |

### シナジー(見込)

- 顧客へのソリューション提供の幅を広げ、事業の拡大と効率化を図る
- 新製品の開発計画を調整するなど、開発リソースの効率化、品質向上を図る
- 調達、生産拠点を相互活用し、生産効率を図る

### 目標

オプテックス・エフエー株式会社との強力な連携により、MV業界の断トツトップへ

(マンシジョン)

### オプテックス・エフエー株式会社 会社概要 証券コード:6661(東証 JASDAQ)

所在地	京都市下京区
代表者	代表取締役社長 小國 勇
設立	2002年1月7日
資本金	5億5,324万円
連結売上高	56億50百万円 (2015年12月期)
従業員数	連結:200名 単体:127名

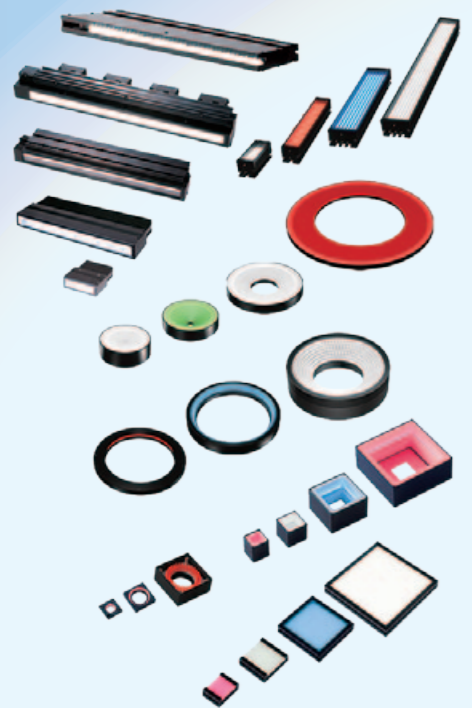
(2016年6月30日現在)

# 事業拡大に向けて「地理的な拡大」、「ソリューションの拡充」、「事業領域の拡大」に取り組んでいます。

当社は、画像処理用LED照明市場で、国内・海外ともにトップシェアを占めるリーディングカンパニーです。海外は、北米、欧州、アジアを中心に事業展開していますが、その他の未開拓エリアへの展開も視野に入れています。また、事業連携によるカメラ、レンズなどの周辺機材を含むシステムソリューション提案を加速させています。そして、これまで培ったノウハウや技術を強みに新しい領域での事業展開を進めています。

## 新規事業

### MV(マシンビジョン)事業



独自のコア技術に基づき開発した、バリエーション豊かな照明ラインアップと長年培ったライティングソリューション\*、事業連携によるソリューションの拡充により、画像処理に最適なシステムソリューションを世界中で提供しています。  
\*ライティングソリューション=光の照射範囲、照射角度、照射波長など、様々な要素を組み合わせた光の当て方の総合的なノウハウをいいます。

**MV(マシンビジョン)照明とは**  
様々な製品の製造ラインにおいて良品・不良品を検査する工程で画像処理検査が行われていますが、検査対象物に「どのような光を当てるか」によって検査精度は大きく変わってしまうことから、LED照明がこの検査のカギを握っています。微細で複雑な工業用製品や、生産効率向上のため高速化が進む飲料ボトルや薬品、食品パッケージの検査など、人間の目では判別が難しい検査に多く使われています。最近では、液晶パネルや高性能フィルムの欠陥検査やロボットビジョン照明として使われるなど、様々な製品が生み出されるFA業界において、その用途は広がっています。



**デバイスビジネス**  
「自然光LED」デバイスや、UV-LEDデバイス等のオリジナルLEDデバイスやモジュールを様々な製品へ提供しています。



**美術館・博物館ビジネス**  
世界最高水準の演色性\*をもつ「自然光LED」を強みに、美術館・博物館に最適な照明を提供しています。  
\*演色性=一般的に演色性の高い光源とは、対象物の色合いを変えずに照らし出すものをいいます。



**UV(紫外)ビジネス**  
UV硬化樹脂を利用したフィルムやシートの接着、UVインクの乾燥などの工程で使用されるUV硬化用LED照射器を提供しています。



**メディカルビジネス**  
内視鏡用などの診断機器をはじめ、治療に必要な光の応用方法を研究・開発しています。特定の光を必要とする手術用にLED照明等を提供しています。



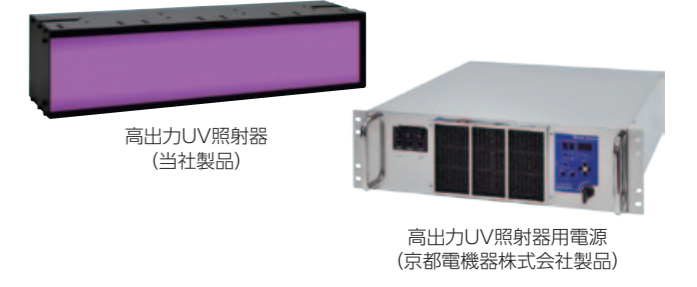
**アグリバイオビジネス**  
大学や研究所向けに独自開発の植物育成用LED照明を提案すると同時に、植物工場向けにPHILIPS社照明や最適な光環境の提案も行っております。



## TOPICS アライアンスの推進

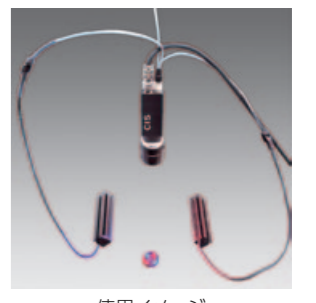
### 製品ラインアップを拡充し、提案力を強化

「京都電機株式会社」との業務提携により、**電源のラインアップを拡充**  
第1弾として、当社のUV照射器の仕様に合わせて高出力電源を京都電機株式会社が開発し、2015年9月に発売しました。



### 産業用カメラメーカー「株式会社シーアイエス」と産業用カメラを共同開発

2015年12月発売『小型スマートライティングCoaXPressカメラ』は、小型カメラの筐体にLED照明コントローラを内蔵し、カメラの供給電源を活用することで同軸ケーブル1本でLED照明とカメラを駆動、パソコンからの制御が可能です。



使用イメージ

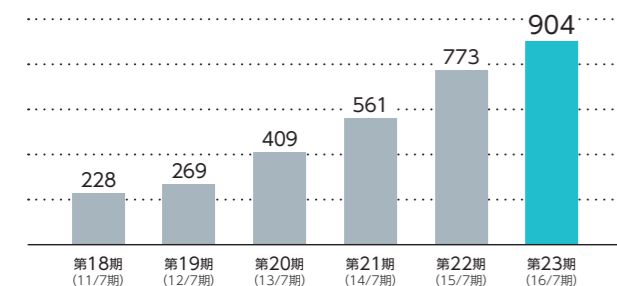
決算ハイライト

2015年8月1日～2016年7月31日(第23期連結会計年度)  
※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

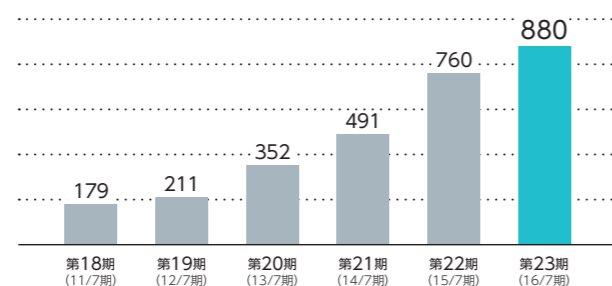
**POINT** MV(マシンビジョン)事業は、国内・欧州での売上高は伸長いたしました。北米・アジアでの売上高は減少いたしました。新規事業は、美術館・博物館ビジネスやUV(紫外)ビジネスが大きく伸長いたしました。円高による為替の影響もあり、売上高は前期比6.1%増となりました。

**POINT** 売上高、営業利益、経常利益は、それぞれ過去最高を更新いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前期は子会社の破産手続終結に伴い法人税等調整額が減少していましたが、当期は法人税等調整額が増加したため減少となりました。

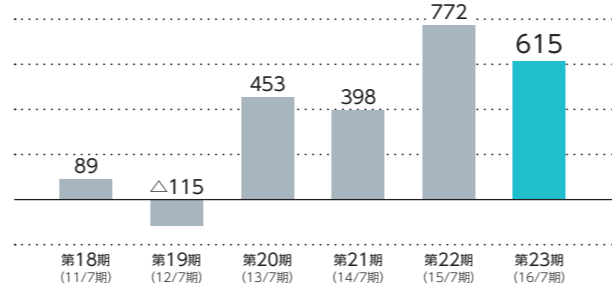
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



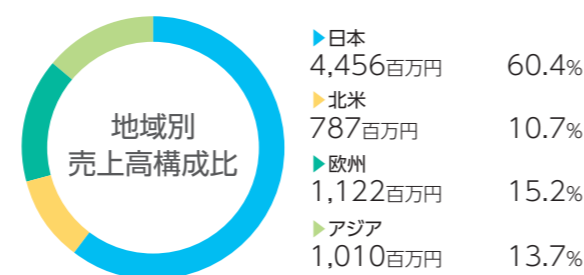
**91.0%** MV(マシンビジョン)事業  
売上高 **6,709**百万円  
前期比 **6.1%**増

国内では、アライアンスによるソリューションの拡充やテストイングループ増設等による顧客へのサポート体制の強化、新製品の投入に積極的に取り組み、前期比10%増となりました。海外では、円高による為替の影響を受け、売上高は微増となりました。

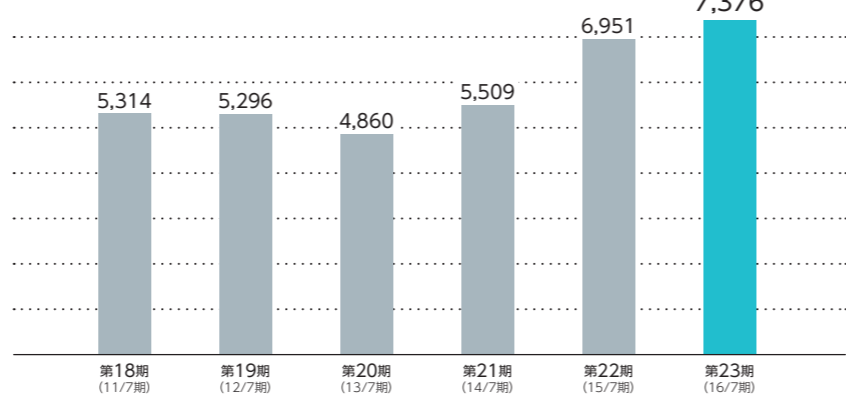
事業別  
売上高構成比

**9.0%** 新規事業  
売上高 **667**百万円  
前期比 **6.3%**増

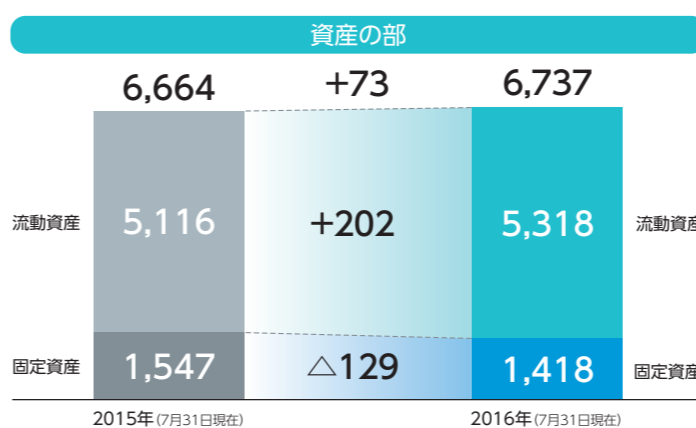
美術館・博物館ビジネスで、大型案件が売上に寄与いたしました。また、UV(紫外)ビジネスで、印刷業界向け高出力UV照射器の出荷を本格的に開始し、アライアンスによる商材を拡充いたしました。



売上高 (単位:百万円)



連結貸借対照表 (単位:百万円)



**POINT** 受取手形及び売掛金の増加により、資産が増加いたしました。長期借入金の返済が進んだことで流動負債、固定負債が減少いたしました。純資産の増加は、親会社株主に帰属する当期純利益によるものです。

詳細な財務情報のご案内 当社WEBサイトの[IR情報]に各種資料を掲載しております。 [http://www.ccs-inc.co.jp/s3\\_ir](http://www.ccs-inc.co.jp/s3_ir)

決算期の変更について

オプテックスグループの一員として経営効率を高めるため、当社の事業年度を親会社であるオプテックス株式会社と同様の「毎年1月1日から12月31日まで」に変更いたしました。決算期変更の経過期間となる第24期は2016年8月1日から2016年12月31日までの5ヶ月の変則決算となります。

第24期 見通し

MV(マシンビジョン)事業において、国内では更なるシェア拡大を目指し、顧客との濃密なコンタクトに拘る営業活動と迅速なサポート体制の更なる強化、様々な顧客ニーズに応えられるよう周辺商材を含めたシステムソリューション営業の展開を継続してまいります。海外では世界の全エリアでのトップシェア獲得を目指し、現地子会社の販売力強化とアジア地域強化のための戦略的展開を進めてまいります。新規事業においては、引き続き「自然光LED」デバイスおよびUV(紫外)ビジネス等の積極的な事業展開、新たな事業シーズの掘り起し、海外市場攻略を見据えた営業活動を強化してまいります。

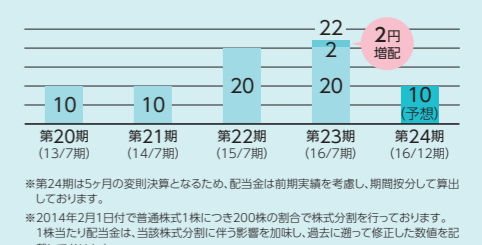
配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、事業活動によって得られた利益を、従業員への賞与、株主の皆様への配当、成長資金としての内部留保へ適正に配分することにより、資本効率を高め、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。経営環境の変化に耐えうる財務基盤を維持し、中長期の成長資金確保のため、内部留保の充実を図りながら、配当につきましては、当面、期末配当として年1回、連結配当性向20%~30%を目標として、継続的かつ業績に応じた利益還元をしていく方針です。

2016年12月期(第24期)連結業績予想・配当予想

売上高	3,000百万円
営業利益	170百万円
経常利益	160百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	100百万円
1株当たり配当金	10円

配当金 (単位:円)



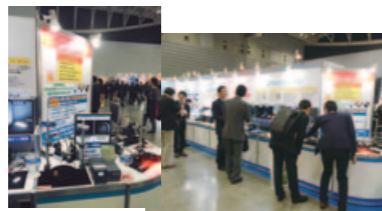
## 展示会出展情報

## Topics 1

## 国際画像機器展2015

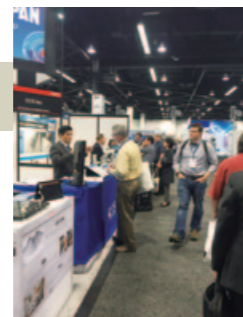
会期：2015年12月2日～12月4日 会場：パシフィコ横浜

2015年12月2日から3日間、パシフィコ横浜で開催された国際画像機器展2015に出展いたしました。この展示会は、画像処理技術にかかわるあらゆる企業が集まっており、シーシーエスは、ライティングソリューションを実現するための様々な製品をご紹介します、非常に多くのお客様に対してPRすることができました。

MD&M WEST  
(Medical Design and Manufacturing West) 2016

会期：2016年2月9日～2月11日  
会場：Anaheim Convention Center (米国カリフォルニア州)

2016年2月9日から3日間、米国カリフォルニア州で開催されたMD&M WEST 2016に、今回シーシーエスは初出展いたしました。医療機器に関連する部品、原材料、製造装置等の企業が集まる展示会で、正確な色認識を可能とするシーシーエスオリジナルの「自然光LED」を医療分野にPRいたしました。これをきっかけに、国内だけでなく海外に向けてのビジネス展開も加速してまいります。



## コンバーティングテクノロジー総合展2016

2016年1月 東京ビッグサイト

硬化・接着・コーティング・表面洗浄などに最適なUV照射器をPR

## Manufacturing Expo BKK

2016年6月 バンコク (タイ)

CCS AsiaブランドのLAKシリーズほか、各種検査用照明をPR

## 文化財修復保存学会

2016年6月 東海大学湘南キャンパス

美術館・博物館専用スポットライトや、展示ケース用照明などを学会にてPR

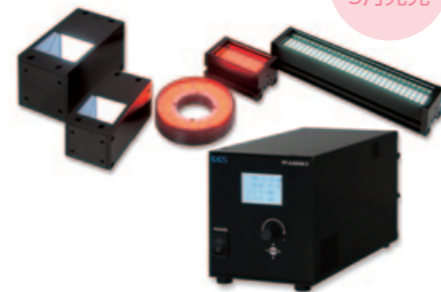
## 新製品情報

## Topics 2

## 画像処理検査用照明/電源「PFシリーズ」

検査用照明では業界初となる明るさで製造ラインの高速化に貢献

「PFシリーズ」は、ストロボ発光専用設計された照明と電源で、0.1μs単位で設定した発光タイミングで強力な光を照射し、従来の同等品との比較では約7倍の照度、瞬間最大照度は700万ルクスを達成いたしました。高速化・高度化が進む画像処理検査に幅広く対応し、キセノンフラッシュランプ光源からの置換えも可能とした製品です。

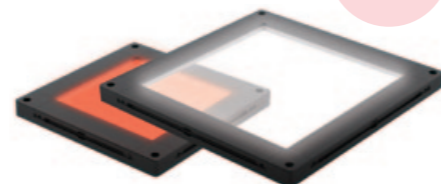


2016年  
5月発売

## 画像処理検査用フラットドーム照明「LFX3シリーズ」

フラットな筐体で省スペース 均一に明るく影のない撮像を実現

「LFX3シリーズ」は、従来品の約3倍の明るさで、サイズや発光色のラインアップを追加して発売しました。対象物を均一に照らし、表面の光沢や凹凸を消してキズや印字などを正確に判断することが可能です。小型化が進む電子部品の検査に対応した超小型サイズから、食品や医薬品、日用品などの検査に対応したサイズまで、28機種をラインアップいたしました。



2016年  
4月発表

## ストロボオーバードライブ電源「PODシリーズ」

LED照明の細やかな調光コントロールを実現し、製造ラインの多様化に対応。

2015年  
12月発売

## 照明調光機能付きLED照明「IUシリーズ」

欧米でニーズの高い、スマートカメラと一体でのコントロールに対応。

2016年  
1月発売

## 蛍光観察用LED照明「UV2シリーズ」

従来品の3倍の放射照度を実現したナロータイプを6機種追加。

2016年  
2月発売

## 会社概要

(2016年7月31日現在)

本社所在地 〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴岡町374番地  
TEL.075-415-8280(代表) FAX.075-415-8281(代表)

設立 1993年10月6日

資本金 462,150千円

従業員数 283名(連結) 203名(単体)

事業内容 画像処理用LED照明装置および制御装置の開発、製造、販売  
顕微鏡光源用、植物育成用、医療用、美術館・博物館用、  
その他LED応用照明の開発、製造、販売



事業所 生産センター、光技術研究所、東京営業所、名古屋営業所、  
テストングルーム(仙台、本厚木、金沢、守山、淀屋橋)、  
上海駐在員事務所、深圳駐在員事務所、台湾駐在員事務所

主な関係会社 CCS America, Inc. CCS Asia PTE. LTD.  
CCS Europe N.V.  
東莞銳視光電科技有限公司

## 役員

(2016年10月27日現在)

代表取締役社長	大西 浩之	執行役員	石井 博規
取締役	小國 勇	執行役員	吉田 正信
取締役	奥村 訓	執行役員	豊福 敏之
取締役 監査等委員(社外)	酒見 康史	執行役員	山田 久明
取締役 監査等委員(社外)	見座 宏		
取締役 監査等委員(社外)	八幡 知行		

## 株式の状況

(2016年7月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 12,005,103株  
発行済株式の総数 ..... 5,417,829株

株主数 ..... 2,260名

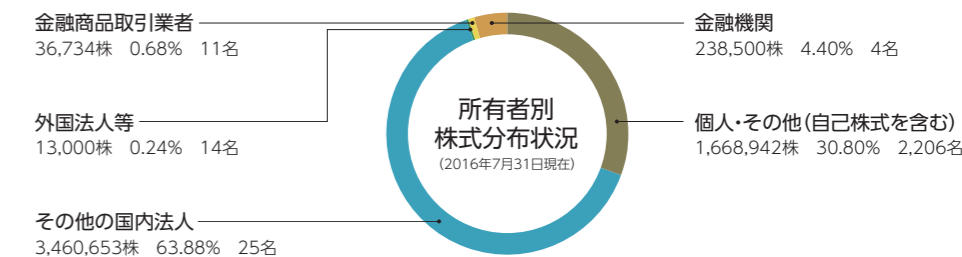
(注)2016年5月2日付でA種優先株式の全部について、普通株式を対価とする取得請求権が行使されましたことにより、A種優先株式5,103株を普通株式1,279,829株へ転換しております。また、2016年5月2日付で当社が取得したA種優先株式5,103株の全てを、2016年5月13日付で消却しております。

## 大株主の状況

(2016年7月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
1 オプテックス株式会社	3,441,651株	63.52%
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (三菱化学株式会社退職給付信託口)	220,600株	4.07%
3 シーシーエス従業員持株会	58,000株	1.07%
4 栢原伸也	52,600株	0.97%
5 黒岩和之	36,200株	0.67%
6 安井由美子	36,000株	0.66%
7 上田隆彦	30,400株	0.56%
8 中野博雄	26,300株	0.49%
9 各務嘉郎	26,100株	0.48%
10 漢見忠	23,300株	0.43%

※持株比率は、自己株式(113株)を控除して計算しております。



## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	事業年度の終了後3か月以内
基準日	期末配当金 毎年12月31日 他の配当を行うときは都度会社が定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先・連絡先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

### ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777 (フリーダイヤル)
3. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)にてお取扱いいたします。

### 公告方法

電子公告  
公告掲載 URL  
<http://www.ccs-inc.co.jp/ir/koukoku.html>

(事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

### 上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ市場

### 証券コード

6669

## WEBサイトのご案内

当社WEBサイトでは、当社に関する様々な情報を発信しております。

### シーシーエス株式会社について

<http://www.ccs-inc.co.jp>



### 株主・投資家向け情報

[http://www.ccs-inc.co.jp/s3\\_ir](http://www.ccs-inc.co.jp/s3_ir)



## シーシーエス株式会社

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374番地  
TEL : 075-415-8280(代表) FAX : 075-415-8281(代表)

### ご注意

この株主通信に掲載している将来に関する予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

